



平成22年(2010年)～

脳死判定シミュレーションを実施

～改正臓器移植法施行、脳死下の臓器移植に備える～



脳死判定シミュレーションには、医師や看護師等の職員が参加し、脳死判定までの手順を確認した。
また、成人だけでなく、18歳未満の小児でもシミュレーションを実施。平成28年(2016)には、脳死と判定された方の当院初となる臓器提供が行われた



▲医師、看護師等で脳死判定シミュレーションを実施

平成22年(2010)7月、脳死状態からの臓器提供の要件を緩和する改正臓器移植法が全面施行されました。福井赤十字病院は県内に5病院ある脳死下での臓器提供・摘出施設のひとつとして、施行前の平成22年(2010)2月に脳死判定シミュレーションを行いました。平成26年(2014)には、子どもの脳死臓器提供を想定した脳死判定シミュレーションを実施。平成28年(2016)6月、福井赤十字病院に入院中の男性が臓器移植法に基づき脳死と判定され、福井赤十字病院初・県内6例目になる脳死下での臓器提供が行われました。



平成22年の出来事

- ・小惑星探査機はやぶさが小惑星イトカワから地球に帰還しサンプルを持ち帰る
- ・日本航空が会社更生法の適用を申請
- ・宮崎県で口蹄疫が流行し、牛豚29万頭を処分
- ・ハイチ地震が発生し、人口の3分の1にあたる370万人が被災